

○3月モニターレポート

日時:2013年3月23日(土) 14:00~15:00

天気:晴れ

区間:矢作川右岸 37.0km~38.0km

3月のレポートです。よろしくお願ひします。

日中はだいぶ暖かさを感じられるようになってきました。

日によっては温度差がまだまだありますが、矢作川沿いをのんびり歩いていると春が確実に訪れているということがわかります。

ゆったりと流れる川面に、緩やかな日差しが浸透して、風もふんわりと辺りを包み込む感じですが、茶色が主体だった堤防には、ところどころに新緑が芽生え、そして、花々が眩しさを増しながらやさしく輝いていました。

そんな光景は、観る者の気持ちまで春にしてくれます。

自然の中でも、特に川(水)を中心に構成されている自然はまさに季節を堪能できる場所ではないのでしょうか。

四季を感じるということは、心が動かされ、そして深まり豊かになります。

豊かな深みのある心からは、美しいものが生まれてくることでしょう。

それは自然の美の生まれかわりのような気がします。

でも、季節を自分の中に受け入れるためには、心に余裕がなければ難しいと思います。

そもそも、余裕がなければ、自然の中に自ら足を運ぼうとはしません。

普段の生活にゆとりを持てるように心がけ、そして時折、自然の中にたたずみ、またそこから生活のゆとりのための力を得る。

ここには、矢作川というすばらしい贈り物が身近にあります。

一年を通してこの自然の中に身を置くことをしていきたいと思いました。

以上、報告申し上げます。



・あまり見かけない野草花



・広がりつつあるタンポポの群生



・ポイ捨てのゴミと野花



・ポイ捨てのゴミと土筆